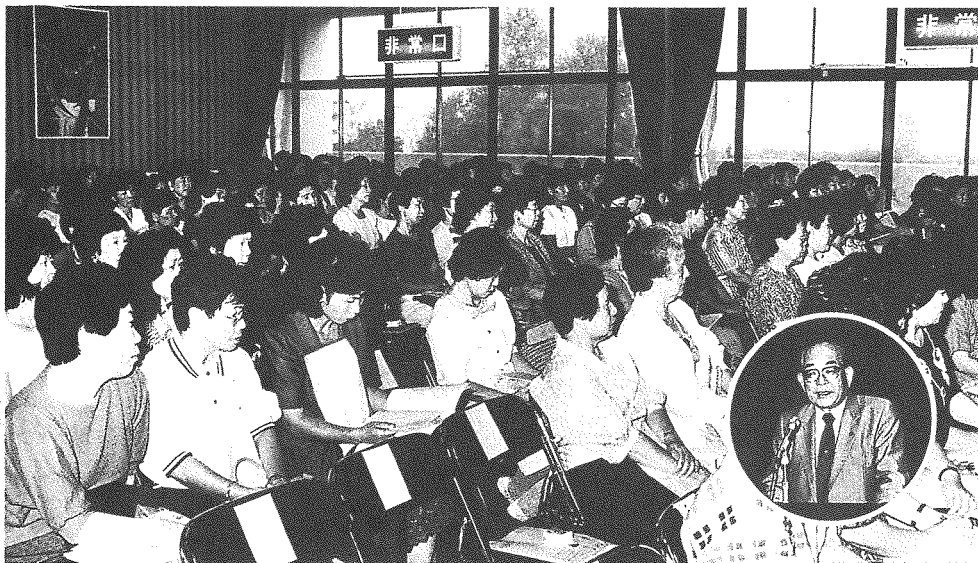


ごみの減量化 婦人の力が決定



ごみ減量化婦人の会発会式。田内はあいさつする市長

ご意見やアイデアを

年々増え続ける可燃ごみの減量化を図る上、自治会にお願いして、二百五十六人の主婦の方々に推薦していただき「ごみ減量化婦人の会」を結成しました。可燃ごみの減量化は、分別収集だけでは限界があり、新しい施策の必要性が生じています。そこで、ごみ問題に関心の高い家庭の主婦のみなさんに、ご意見やアイデアをお聞かせし、ごみ減量化婦人の会」を結成したものです。ごみの減量に取り組む婦人の会を紹介しましょう。

増え続ける可燃ごみ

六十一年度から実施している分別収集は、市民のみなさんの協力により、故紙、空き缶、空きビンなどの資源再生みの排出量が予想以上の実績を納めて、ごみの減量に貢献しています。

この結果、ごみ処理費の節減はもとより、各種処理施設の延命にも大きく役立っています。反面、可燃ごみは六十年年度五万一千、六十年年度五万三千、六十二年五万六千と、年に約五割ずつ増加しています。

この原因としては、資源再生ごみの分別排出がまだ十分であることや、消費生活の多様化、消費需要の増加などいろいろな要因が考えられます。このように、増え続ける可燃ごみの減量には、ごみの資源化だけでなく、ごみの減量が必要です。

そこで、可燃ごみの減量化を推進するためには、外より方法はないかと「ごみ減量化

運動していくには、市民のみなさんの英知をお借りしたい。市民による企画・立案への参加が必要となります。なかでも、家庭の主婦のみなさんは、ごみに関心が高く、幅広いご意見をお持ちのことと思います。

そこで、ごみ減量化へ向け「ご意見やアイデアを出していただき、実効のある施策をつくりあげて行くために「ごみ減量化婦人の会」を結成していただきました。選出にあたっては、各自治会長に協力を得ながら、市民一人一人の一人から選出をお願いし、

二百五十六人の推薦をいただきました。市内十三地区に設置されました地区委員会は、各地区で地区委員会を開催して、ごみ問題について、いろいろな意見が出され、活発な話し合いが行われています。

また、平塚市の現状について、もっと理解を深めようと、勉強会を開いています。勉強会では、ごみを資源化する上、地球上の多くの資源を節約できることや、家の可燃ごみの約五割は水であることなどを、知り、感心したり驚いたりして、大参考になったようです。

市民のみなさんご協力をお願いします！

会の設立主旨は

婦人の会会長 鈴木茂子さん

「資源を大切に」を合い言葉に始められた分別収集が行われて、はや二年になりましたが、一時は少なかった「生ごみ、燃えるごみ」が、今では増加しつつあります。台所の生ごみも、水分が半分を占めていて、いかに埋立地を減らすかが、勉強していかないと、思います。良い案がごいまだに、どうぞ、市担当課または各自治会の委員さんに、お声をかけていただければ幸いに存じます。

また生まれて日も浅く、未熟な私ですが、一生懸命頑張りますので、ご指導、ご協力をお願いします。

ごみに取り組む

婦人の会副会長 西村嘉子さん

ごみ減量化婦人の会を、存続して、ポールの中に入れ、資源ごみとして、生ごみは、一度水を切って出すなどの工夫を、各自治会から一、二百五十六名の主婦で発足しました。

七月五日の発会式の後、月刊廃棄物レポーター松田美夜子女士の示唆に富む講演があり、ごみ問題をこのまंचで置くと、

一、処理場の不足
二、処理費用の負担増
三、資源ごみの不意な排出により地球上の資源枯渇につながる
等、身近な所から世界中に至る影響を持つ問題であるとお話でした。私自身も、返るお話を、ごみ問題に真剣に考えたことはあまりありませんでした。しかし早速その日から、紙類は新聞紙の中に、化粧ば

はほとんど小さくは「ごみ

平塚市は日本一

どうしたらごみ
減らせるかな





市職員から説明を聞く子供たち

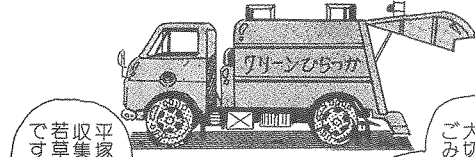
これからの平塚を担う子供たちが、各小学校で巡回し、ごみへの理解を深め、街づくりに目を向けてもらうため、みんなの生活とごみをよくいうチームで、ごみ学級を開催しています。

今年はずいぶんごみ学級を開催し、三千人の子供たちが参加しています。

ごみ学級は、まず映画「エッセン」を観て、ごみを出さず、家から出るごみの種類と量、ごみの始末の仕方、埋立地の仕組みなどを勉強し、引き続き、ごみを集める職員の日を通して、ごみの種類によりそれぞれ処理場にごみを運ぶ様子や、七まつりの時に特別な計画を立ててごみを収集することを、分かりやすく話していき

ごみ学級で、何といつても一番の人は、日常使用で、ごみを出さず、家から出るごみの種類と量、ごみの始末の仕方、埋立地の仕組みなどを勉強し、引き続き、ごみを集める職員の日を通して、ごみの種類によりそれぞれ処理場にごみを運ぶ様子や、七まつりの時に特別な計画を立ててごみを収集することを、分かりやすく話していき

ごみ学級は、まず映画「エッセン」を観て、ごみを出さず、家から出るごみの種類と量、ごみの始末の仕方、埋立地の仕組みなどを勉強し、引き続き、ごみを集める職員の日を通して、ごみの種類によりそれぞれ処理場にごみを運ぶ様子や、七まつりの時に特別な計画を立ててごみを収集することを、分かりやすく話していき



平塚市の収集車は、なぜ若草色なんですか？

収集車を若草色にした理由は、紙は木から作ります。その紙を大切に使う、緑を守り、ごみを減らすことが出来ます。緑を守り、ごみを減らす、ほしいと願いをこめて、若草色にしたわけです。



資源ごみの説明

ごみは進んで拾います

上原礼子さん
(大野小学校4年)

いつも家や学校から出るごみをつめてくれてありがとう。えがやおはなしを聞いて、何か所々あるんですか？

ごみはふやしません

上林瑞穂さん
(金目小学校4年)

おじさん、わたしです。毎日がんばって、ごみを出さず、家から出るごみの種類と量、ごみの始末の仕方、埋立地の仕組みなどを勉強し、引き続き、ごみを集める職員の日を通して、ごみの種類によりそれぞれ処理場にごみを運ぶ様子や、七まつりの時に特別な計画を立ててごみを収集することを、分かりやすく話していき

ごみ学級で、何といつても一番の人は、日常使用で、ごみを出さず、家から出るごみの種類と量、ごみの始末の仕方、埋立地の仕組みなどを勉強し、引き続き、ごみを集める職員の日を通して、ごみの種類によりそれぞれ処理場にごみを運ぶ様子や、七まつりの時に特別な計画を立ててごみを収集することを、分かりやすく話していき

ごみ学級で勉強

みんなの生活を考えよう

よい勉強になりました

遠藤大輔君
(あす小学校4年)

おじさん、このまはあり、ごみを出さず、家から出るごみの種類と量、ごみの始末の仕方、埋立地の仕組みなどを勉強し、引き続き、ごみを集める職員の日を通して、ごみの種類によりそれぞれ処理場にごみを運ぶ様子や、七まつりの時に特別な計画を立ててごみを収集することを、分かりやすく話していき

おじさんどうもありがとう

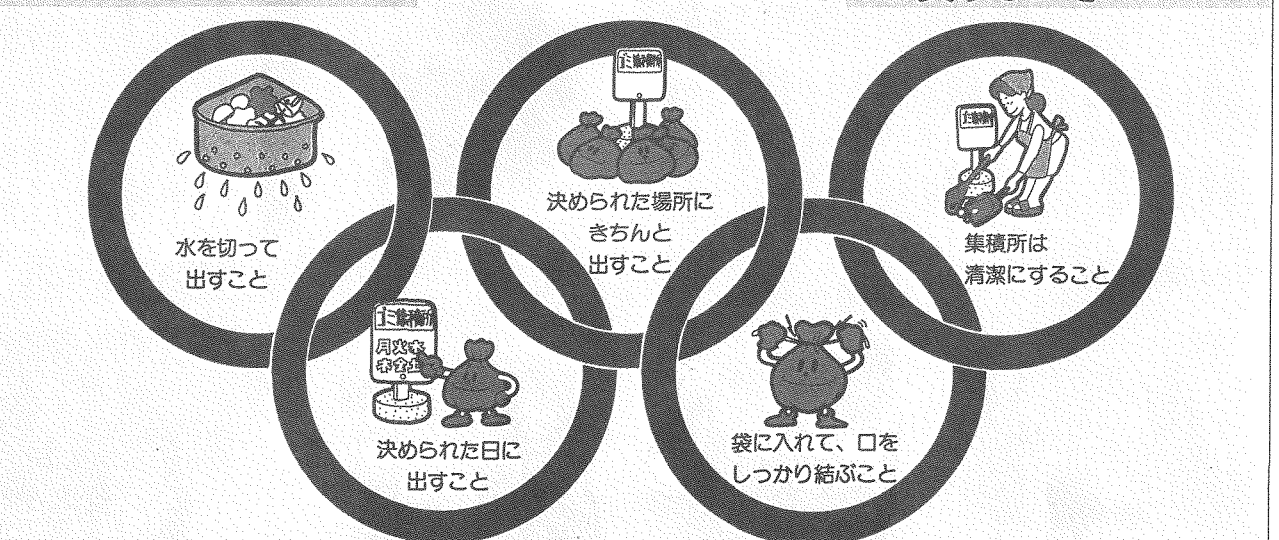
伊藤晴人君
(南原小学校4年)

ぼくは、ごみを出さず、家から出るごみの種類と量、ごみの始末の仕方、埋立地の仕組みなどを勉強し、引き続き、ごみを集める職員の日を通して、ごみの種類によりそれぞれ処理場にごみを運ぶ様子や、七まつりの時に特別な計画を立ててごみを収集することを、分かりやすく話していき

ごみ学級で、何といつても一番の人は、日常使用で、ごみを出さず、家から出るごみの種類と量、ごみの始末の仕方、埋立地の仕組みなどを勉強し、引き続き、ごみを集める職員の日を通して、ごみの種類によりそれぞれ処理場にごみを運ぶ様子や、七まつりの時に特別な計画を立ててごみを収集することを、分かりやすく話していき

毎日が平塚のゴミリンピック

まちを、美しくしていくことは、よそのまちには負けないぞ～



スポーツにもいろいろなルールがあるように、ごみを出す時のルールは5つあることが、ごみ学級でわかりました。